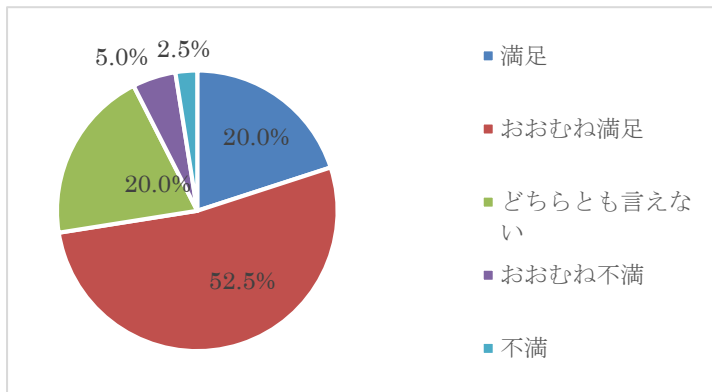


令和6年度みやぎ食の安全安心消費者モニター研修会 参加者アンケート集計結果

○対象者数：41名 ○回答者数：40名 (回収率 98%)

1 今回の研修会に参加してみてのご感想をお聞かせください。
(あてはまる数字を1つ選び、選んだ理由をお書きください。)

(1) 満足度はどのくらいですか。



選択肢	回答数	割合
1 満足	8	20%
2 おおむね満足	21	52.5%
3 どちらとも言えない	8	20%
4 おおむね不満	2	5%
5 不満	1	2.5%
合計	40	100%

○「1 満足」を選んだ理由

- ・農薬の必要性が分かった。
- ・農薬の評価(再評価)をここまで詳しくされていることを知り、信頼されることを学んだ。
- ・説明が丁寧だった。
- ・知りたかった食品の安全分野におけるハザードとリスクのところで、多く食すればリスクも大きくなることを聞いて良かった。

○「2 おおむね満足」を選んだ理由

- ・大体の農薬の必要性が分かった。
- ・リスク評価とリスクコミュニケーションを行うことの大切さを学び、ハザードについての学びを深めた。
- ・普段の生活ではわからない情報を知ることができたため。
- ・今後もこのような研修会をしてほしい。
- ・内容が難しかったが研修会に参加してよかった。
- ・知識と経験の整理ができた。

○「3 どちらとも言えない」を選んだ理由

- ・内容が難しかった。
- ・行政面からの残留農薬の話であり、消費者および利用者側からの影響について話をしてほしかった。

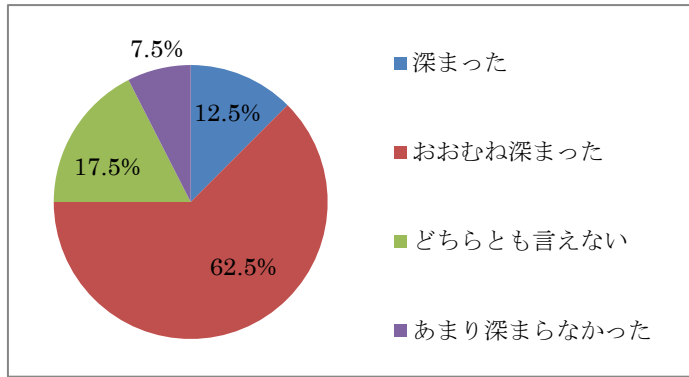
○「4 おおむね不満」を選んだ理由

- ・内容が専門家向けで一般的でなかった。

○「5 不満」を選んだ理由

- ・葉にどのくらい残留農薬が残るのか聞きたかった

(2) 残留農薬に関する知識は深まりましたか。



選択肢	回答数	割合
1 深まった	5	12.5%
2 おおむね深まった	25	62.5%
3 どちらとも言えない	7	17.5%
4 あまり深まらなかった	3	7.5%
5 深まらなかった	0	0%
合計	40	100%

○「1 深まった」を選んだ理由

- ・残留農薬の安全性が分かった。
- ・担当省庁について分かって良かった。

○「2 おおむね深まった」を選んだ理由

- ・残留農薬という意味が理解できた。
- ・ハザードとリスクの関係とリスクコミュニケーションを行うことの重要性和理解を深めた。
- ・どれ位残るかは使用してみなければ分からない部分もあると思う。
- ・今まで残留農薬についてあまり意識したことがなかったから。
- ・食品や年齢毎に残留基準値を設定し、健康への悪影響が生じない農薬の摂取量が決められていることが分かったから。
- ・残留農薬イコール有害という考え方を変えるきっかけになれた。
- ・知識と経験の整理ができた。
- ・安全性の審査が行われているうえに、再評価されていることが分かって良かった。

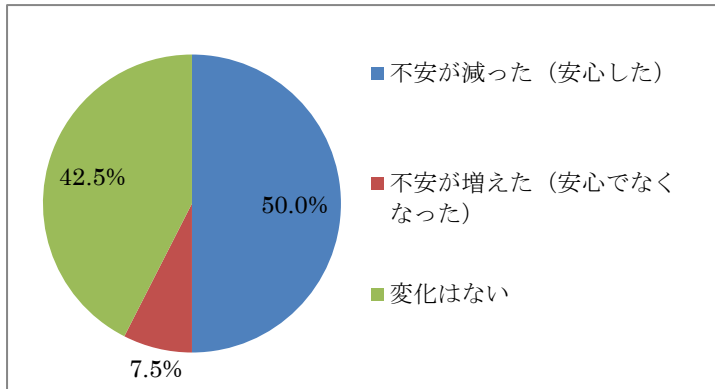
○「3 どちらとも言えない」を選んだ理由

- ・専門家の皆さんがしっかりしていることは理解した。
- ・各種試験データ結果が安全な農薬等の使用、提供しているとの事だが、これまで残留農薬を長年食してきたことに対する影響が不明だった。

○「4 あまり深まらなかった」を選んだ理由

- ・終始概要程度だった。

(3) 食の安全安心に対する意識の変化はありましたか。



選択肢	回答数	割合
1 不安が減った (安心した)	20	50%
2 不安が増えた (安心でなくなった)	3	7.5%
3 変化はない	17	42.5%
合計	40	100%

○「1 不安が減った (安心した)」を選んだ理由

- ・毒性の評価と残留基準がしっかりと調べられていたから。
- ・食の安全安心を確保するための省庁の役割が分かった。
- ・残留農薬の怖さ、結果が信頼できることを知った。
- ・農薬は農作物の安定供給のために必要なものということを再認識できた。
- ・おおむねではあるが、不安が減った気がする。
- ・知識が増えたことで、不安が減ったということ。
- ・食品安全委員会により評価されているのが分かったから。
- ・食品の中で一番農薬が強く残っていると聞いたことがあり、イチゴの農薬はどうなのか気になった。
- ・農業に関してどう取り組みしているのかを理論的に説明していただいた。

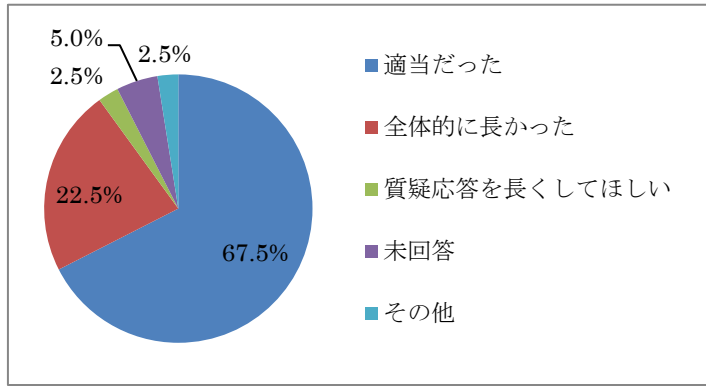
○「2 不安が増えた (安心でなくなった)」を選んだ理由

- ・リスクは軽減できてもゼロにはできない。

○「3 変化はない」を選んだ理由

- ・農薬登録の話だけだったため。
- ・農産者さんの頑張りにかける。
- ・安全性が確認された農薬だけを登録するために、関係省庁が連帯して取組んでいることが分かった。
- ・もともと残留農薬に対して知識が薄かったが、今回の研修会で各省庁でかなりの研究と実験が行われていることを知って安心した。
- ・具体的な物質名やその対処法が分かればなお良かった。
- ・今までも理解していた内容だったため。

2 研修会の時間の長さは適当でしたか。



選択肢	回答数	割合
1 適当だった	27	67.5%
2 全体的に長かった	9	22.5%
3 全体的に短かった	0	0%
4 講義をもっと長くしてほしい	0	0%
5 質疑応答をもっと長くしてほしい	1	2.5%
6 未回答	2	5%
7 その他	1	2.5%
合計	40	100%

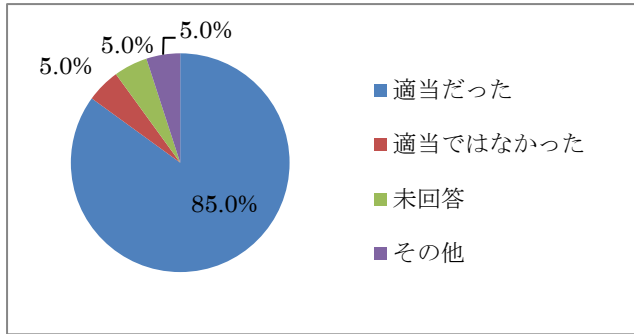
○「2 全体的に長かった」を選んだ理由

・できれば 15:30 分頃には閉会してほしい。

○「6 その他」を選んだ理由

・身近なテーマで集中できたため、時間の長短はあまり感じなかった。ただ、参加者は高齢者が多く集中力が続かないこともあるので、2時間前後で全て終わると良いと思う。

3 研修会の開催時期は適当でしたか。



選択肢	回答数	割合
1 適当だった	34	85%
2 適当ではなかった	2	5%
3 未回答	2	5%
4 その他	2	5%
合計	40	100%

○「1 適当だった」を選んだ理由

- ・暑すぎなくてよかった。

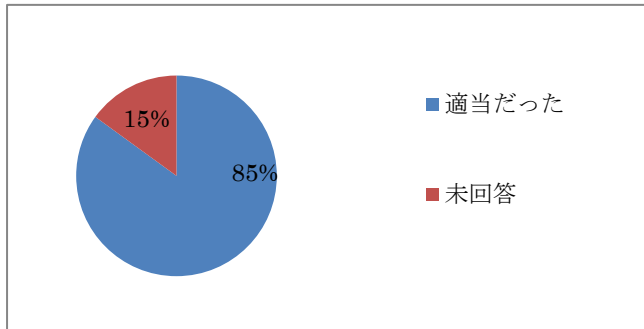
○「2 適当ではなかった」を選んだ理由

- ・暑さを避けた時期に開催してほしい。
- ・平日は限定された人しか参加できない。

○「3 その他」を選んだ理由

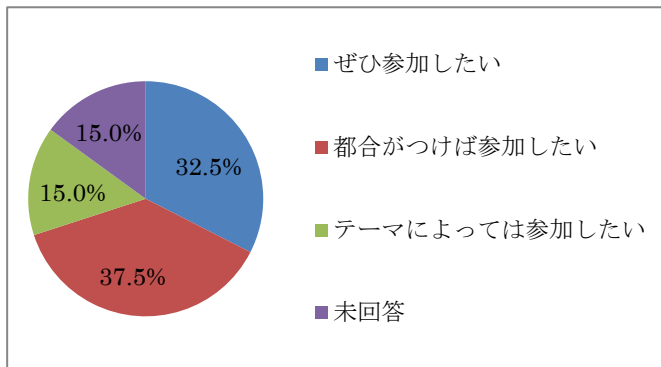
- ・夏休み期間は避けた方が良いのではないか。
- ・暑さを避けるため、6月から7月初め頃の開催が良いのではないか。

4 研修会を開催する場所は適当でしたか？当てはまる番号に○をしてください。



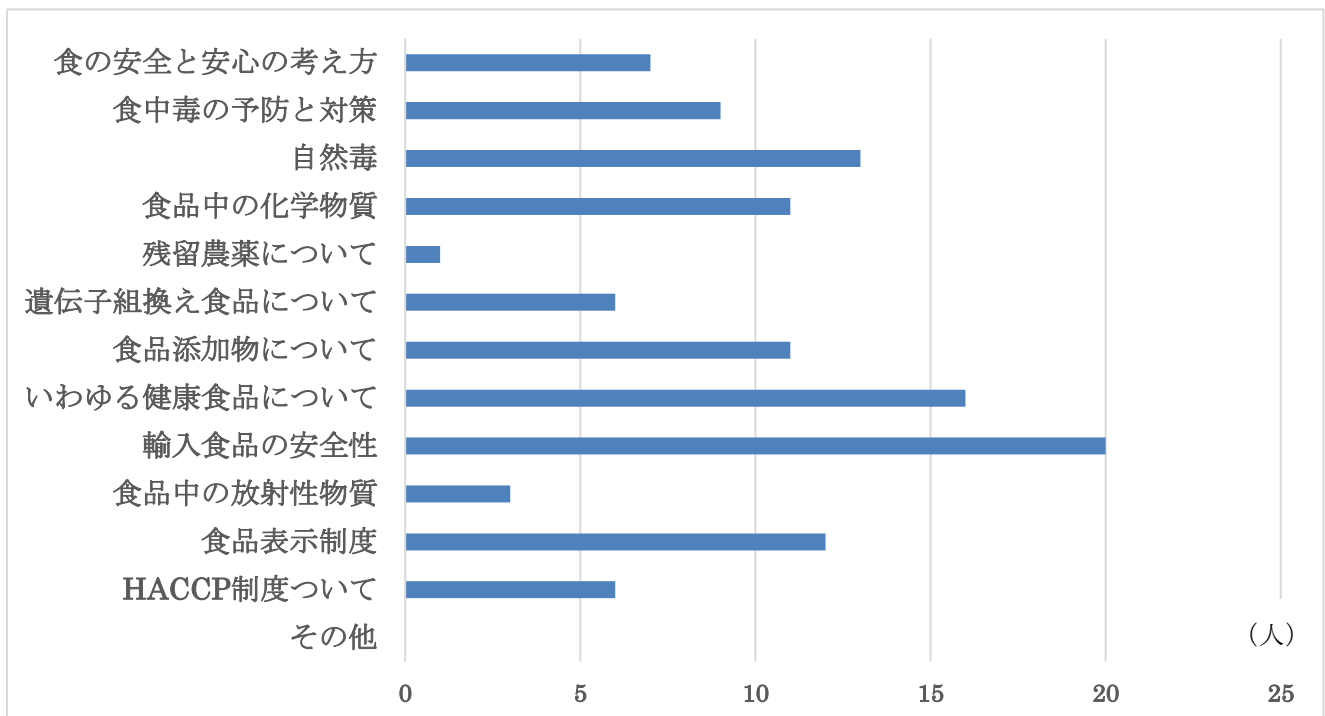
選択肢	回答数	割合
1 適当だった	34	85%
2 適当ではなかった	0	0%
3 未回答	6	15%
合計	40	100%

5 また参加したいと思いますか？当てはまる番号に○をしてください。



選択肢	回答数	割合
1 ぜひ参加したい	13	32.5%
2 都合がつけば参加したい	15	37.5%
3 テーマによっては参加したい	6	15%
4 あまり参加したくない (できない)	0	0%
5 参加したくない (できない)	0	0%
6 未回答	6	15%
7 その他	0	0%
合計	40	100%

6 次回以降のモニター研修会で扱ってほしいテーマはございますか。



7 その他、ご意見・ご感想等がございましたら、ご記入をお願いします。

- ・聴講者が少数だったが、酷暑が不参加者数に悪影響を与えたのだと思った。
- ・農林水産省、環境省の取り組みの話で、残留農薬の安全性の話ではなく、テーマと違った。
- ・小林製薬が製造、販売した健康食品により多くの使用者が死亡したり体調を崩したりした事件が報道されて知った。こうした被害が表面化する前に危険性を公表したり、風評段階で立入り検査し検査結果を国民に知らせる情報公開の意識を強めてもらいたい。
- ・農薬の再評価制度があり、安全安心が確保できていることが分かった。
- ・一般的だが難しい内容だった。具体的な農薬で効果と毒性の評価の例が示されればもう少し分かりやすかったのではないか。
- ・美しい野菜は農薬なしでは作ることはできないが、日本では厳しい基準があることが分かった。それでも家畜の飼料は現在ほぼ輸入でその安全性は良く分からない上に、外国産の農産物も残留農薬は不明であるが、消費者としてしても本当は美しく大きさのそろった野菜にはある程度農薬が使われていることを知るべきだと思う。
- ・本日の講話から農薬の安全性は確保されているように思ったが、生産者が農薬を使用するか否かは何を基準に判断しているのだろうと疑問に思った。具体的な農薬名が出てきて現実的な内容だと思ったが、問題点などをもう少し知りたいと思った。
- ・もう少し若い世代が参加できるように検討してほしい。若い人達こそ聞いてほしい内容だった。
- ・食品安全委員会の方の話が聞けて良かった。国、県、市町村によって考え方が違う時もあるので、今後の講習会でも国の機関の方からの話が聞きたい。
- ・農薬は本当に水で洗うだけでとれるのか。桃とかの場合身の中にも浸透してないか不安だ。
- ・農薬の安全性を確保するために関係省庁が連携して取り組んでいるとの話だったが、農薬の安全性は確保されているのに、なぜ農水省は有機農薬を推進しようとしているのか疑問だ。
- ・食品安全委員会や行政の役割が良く分かった。再評価制度の仕組みをスピード感を持って実施してほしいと思う。
- ・浅野先生の担当外だと思うが、生産者が使用方法等に沿って使用しているかなどが確認されていることも消費者にとっては知りたいことだと思った。
- ・電化製品の普及により季節性が薄れているため、特に教育機関においての生産時季の教養が難しい。
- ・産地直売店の野菜等において、スーパーによっては出荷及び生産年月日等が明示されていないので、消費者にとっては新鮮度合の判断に困る。生産地だけの明治だけでなく、有機農薬使用等の食品表示の明示がほしい。
- ・残留農薬や食品物に対しての色々な影響はゼロにはできないと思うし、食せずには生きられないことがもどかしいが、少しでも知識があれば救われると思った。
- ・難しいテーマだったので、ざっくりした感じで取り入れようと思う。日本の安全の基本法が割と最近できたものだと知れた。
- ・定期的な研修会の開催に感謝したい。